

# 人権・地域との共生

J-POWERグループは発電事業や送電事業など大規模な設備を建設し、長期にわたって維持・運営する事業を中心に営んでいます。そのため、事業活動に関係する方々や地域社会と良い関係を築き、互いを必要としあえる存在でありたいと考えています。

## 人権の尊重

当社は「コンプライアンス行動指針」で人権の尊重を掲げ、またマテリアリティとしても「人の尊重」を掲げています。従業員を含むすべての人々の人権を尊重し、差別や人格否定につながる行為は一切行いません。また、出生、国籍、人種、信条、宗教、性別、身体的条件、社会的身分などによるあらゆる差別を行わないことを行動指針に定めています。

「コンプライアンス行動指針」の全文はJ-POWERホームページをご覧ください。

[https://www.jpowers.com/company\\_info/compliance/guidelines.html](https://www.jpowers.com/company_info/compliance/guidelines.html)



### コンプライアンス行動指針（一部抜粋）

#### 6. 働く仲間との関係

##### (1) 人権の尊重

- ① 従業員を含む全ての人々の人権を尊重し、差別や人格否定につながる行為は一切行いません。
- ② 出生、国籍、人種、信条、宗教、性別、身体的条件、社会的身分などによるあらゆる差別を行いません。

## 人権に関する取り組み

### 国連グローバル・コンパクトへの署名

当社は国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト(UNGC)」に署名し、2021年4月に参加企業として登録されました。

(詳細はp.40「J-POWERグループのサステナビリティへの取り組み」を参照)

期的に実施するなど、ダイバーシティ推進にも積極的に取り組んでいます。併せて、従業員のコンプライアンス意識やグループを取り巻く環境の変化を定期的に把握し、今後のコンプライアンス施策の展開に活かすことを目的として「コンプライアンス・アンケート」を実施しています。

### 人権・コンプライアンスに関する取り組み

当社では10年以上にわたり従業員が人権尊重に係る理解を深め、また各種ハラスメントやコンプライアンスに関する知識を得られるようさまざまな機会を通じて研修を実施しています。また、アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)や障がいがある方の起業等をテーマにした講演会を定

#### 2020年度実施状況

内訳	概要	参加者数(名)
階層別研修	新入社員研修および管理職研修にて人権、コンプライアンス、各種ハラスメント防止に係る講義を実施	207
人権&コンプライアンス研修	対象機関勤務の従業員を対象として人権、コンプライアンス、各種ハラスメント防止に係る講義を実施	237

## 地域との共生・社会貢献活動

当社は、「J-POWERグループ社会貢献活動の考え方」に基づき、良き企業市民として文化・芸術活動の支援、地域社会への協力、ボランティア活動への参加支援、国際社会への貢献などの社会貢献活動に積極的に参加し、社会の発展に寄与しています。

「J-POWERグループ社会貢献活動の考え方」についてはJ-POWERホームページをご覧ください。

<https://www.jpowers.com/sustainability/contribution/policy.html>



### 社会貢献活動実績

2020年度の社会貢献活動として、次のようなプログラムをはじめ、さまざまな取り組みを実施しました。

プログラム	概要	対象	協働団体	参加人数など
「どんぐりの森づくり(越前おおのエコフィールド主催)」への参加(福井県)	J-POWERグループの全国の発電所・送電線事務所等では、さまざまな地域との交流・共生活動を行っています。福井県では、越前おおのエコフィールドが主催する「どんぐりの森づくり」に水力発電所従業員が参加し、市内全10小学校の子供たちが種から育てたどんぐりの苗木の越冬準備として、苗木を掘り起こし、降雪に備えて横に倒す作業を行いました。	地元大野市をはじめ福井県の事業所、団体、地域住民等	地元事業所、地元団体等	参加総勢約90名



どんぐりの森づくり

## 奥只見観光(株)の運営による地域活性化への貢献

当社は、観光事業を通じた地域共生・社会貢献を目的として、新潟県魚沼市との共同事業である奥只見観光(株)の運営に携わっています。奥只見観光(株)は、福島県・新潟県の県境に位置する奥只見水力発電所の運転開始後の1962年に青少年教育の場として林間学校を開設したのを始まりに、1973年には遊覧船事業を開始、1979年には「奥只見丸山スキー場」の営業を開始し、現在まで発電所立地自治体の方々と共に地域の観光振興を行っています。これからも、本事業を通じて発電所立地地域の方々との共生、地域活性化に貢献してまいります。

### 2020年度利用者人数実績\*

遊覧船	約35,000人
奥只見丸山スキー場	約7,300人

\* 新型コロナウイルスの影響により、利用者は前年度より大幅に減少



遊覧船



奥只見丸山スキー場

## インドネシア(セントラルジャワプロジェクト)における社会貢献活動

現在インドネシア共和国において推進しているセントラルジャワプロジェクトでは、環境親和型高効率発電のモデルケースとなる石炭火力発電所(200kW)を建設しています。本プロジェクトの影響を受ける立地地域の皆様が自立して持続的に発展できるよう、J-POWERグループは事業会社であるBhimasena Power Indonesia社(BPI社)を通じ、さまざまな支援活動を展開しています。活動内容の選定・実施にあたり地域の皆様や関係自治体から寄せられたニーズに従って進めた結果、BPI社は優れた活動を行う企業としてインドネシア国内外で数々の賞を受賞してきました。

### 活動事例

- 経済活動支援  
住民グループによる小規模事業(ランドリー、縫製など)と地域のマイクロファイナンス事業の支援(機材提供、トレーニングなど)  
2020年までに累計203グループ、2,900人への支援を実施
- 医療支援  
村の診療所にて乳幼児、老人向けのサプリメントフード提供、メディカルキット提供、医療ボランティアのトレーニング
- 教育支援  
インドネシア政府の環境教育プログラム支援、地方政府とカ・コーラ基金と提携して、村落図書館の整備支援など

- インフラ整備  
公衆トイレの整備、モスクの修繕、診療所の整備、道路の修復など  
新型コロナウイルス感染防止対策のため、石鹸・マスク・消毒液等の提供  
2020年までに391件の整備を実施
- 社会文化・環境支援  
廃品回収活動、バタン赤十字と協力して海岸地域の植林、マングローブの再整備支援、漁礁ブロック投入による人工漁礁の設置、町の清掃活動など

### 主な受賞歴

- TOP CSR Award 2020
- Indonesia CSR Awards (ICA) 2020
- Nusantara CSR Award (N-CSR-A) 2020
- Global Good Governance (3G) Award for category Environmental Responsibility 2019
- Indonesia Green Award (IGA) for category Coastal Ecosystem Restoration 2019
- AREA (Asia Responsible Entrepreneurship) Awards for category Health Promotion 2018
- TOP CSR Improvement 2017
- TOP Leader on CSR Commitment 2017 for Takashi Irie\*
- Special Award as The Best Environmental Concerned Company on Indonesia Best Electricity Award (IBEA) 2016



3G Awardを受賞する小出CEO

\* BPI社CEO、J-POWERからの出向者(当時)